

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

R7 年 7 月 25 日

三田市議会議長 様

本会派（私）は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	さんだの未来		代表者	佐貫尚子
			議員名	佐 貫 尚 子
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲			
視 察 先	富山市 総曲輪レガートスクウェア 1日目 福井県池田町 2日目			
調査事項 (調査目的)	富山市総曲輪レガートスクウェア 民間活力を生かした学校跡地活用 福井県池田町 地域資源を活かした教育			
日 時	令和7年7月16日（水曜日）～令和7年7月17日（木曜日）			
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要	
	宿泊料	13,500 円		
	日 当	6,000 円		
	鉄道賃 (モジュール)	24,380 円	JR 三田駅⇒JR 富山駅 10,950 円 JR 富山駅⇒JR 福井駅 5,480 円 JR 福井駅⇒JR 三田駅 7,950 円	
	航空賃			
	バス賃	420 円	富山駅前⇄総曲輪 210 円 × 2	
	レンタカー	2,718 円	レンタカー10,873 円 (ガソリン・保険込み) 10,873 円 ÷ 4 名 按分 = 2,718 円 視察時刻に合うバス便無し、タクシー料金より $(2,718 \times 3 + 2,718)$ も費用が安価であった為、レンタカーを利用。	
	タクシー			
	その他	3,475 円	視察先へのお土産代 4 人で按分 2,900 円 ÷ 4 = 725 円 視察料金 11,000 円 ÷ 4 = 2,750 円	
合 計	50,493 円			
備 考	視察時刻に合うバス便が無く、タクシー料金よりも費用が安価であった為、レンタカーを利用。			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

富山市「総曲輪レガートスクエア」の事例は、公共福祉機能と民間活力を融合させ、日常利用と地域活性化を両立した好例である。小学校再編後の跡地においても、同様の複合型開発を導入することで、

- 財政負担を抑えつつ持続的に機能する施設の整備
- 教育・福祉・商業の連動による地域コミュニティの維持
- 若年層・高齢層双方の交流促進

が期待できる。

三田市においても、本事例をモデルとして、跡地の長期的な価値を高める計画を検討することが望ましい。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

令和7年 7 月 25 日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	伊藤 尚子
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲		
視察先及び調査事項	富山市 総曲輪レガートスクエア		
日 時	令和7年7月16日（水曜日）13時0分～15時50分		
視察先対応者	富山市企画管理部企画調整課 政策調整係長 酒井真実子、 NPO 法人まちづくりスポットとやま 菅原 裕子 NPO 法人まちづくりスポットとやま カスティーロ美智子 NPO 法人まちづくりスポットとやま 板屋 亜希恵		
(調査結果の概要及び所見) 別紙でも可			
小学校再編後の跡地活用に関する参考事例 — 富山市「総曲輪レガートスクエア」 —			
1. はじめに			
全国的な少子化に伴い、多くの自治体で小学校の統廃合が進められている。三田市においても再編計画が進行中であり、今後は廃校跡地の有効活用が重要な政策課題となる。本レポートでは、富山市中心市街地に整備された「総曲輪レガートスクエア」の事例を取り上げ、小学校跡地活用のモデルとしての有用性を検討する。			
2. 事例概要(富山市「総曲輪レガートスクエア」)			
<ul style="list-style-type: none">所在地: 富山市総曲輪敷地面積: 8,700 m²延床面積: 17,110 m²整備主体: 大和リースグループ(公共部分は竣工後市が買い取り、民間部分は30年間の事業用定期借地)主な機能構成:<ol style="list-style-type: none">地域包括ケア拠点(富山市まちなか総合ケアセンター/2,500 m²)専門学校(青池学園/4,800 m²)フィットネスクラブ(ゲンゼスポーツ/2,000 m²)			

4. カフェ(ナチュラルカフェ広貫堂/160 m²)
5. コンビニ・調剤薬局(ローソン・ファーマみらい)
6. 立体駐車場(325 台/7,650 m²)

3. 成果と効果

1. 複合機能による日常利用の促進
 - 子育て支援、健康増進、商業、教育を同一敷地に集約し、幅広い年齢層が日常的に利用。
2. 教育機関誘致による若年層流入
 - 専門学校の新設で最大 540 人の学生が通学、周辺商業の利用増加。
3. 民間活力の活用による財政負担軽減
 - 公共部分は市が整備費を一括負担せず、民間による先行整備後に買い取り。
4. まちなか活性化
 - 中心市街地に人の流れを創出し、周辺既存施設との回遊性を高めた。

4. 小学校跡地活用への適用可能性

1. 土地規模の適合性
 - 小学校敷地(7,000~10,000 m²程度)は、本事例と同等の規模で複合施設整備が可能。
2. 公共福祉とにぎわい創出の両立
 - 跡地の一部を地域包括ケア拠点や子育て支援施設に充当しつつ、民間施設を併設することで多世代利用を実現。
3. 教育機能の継承
 - 廃校後も専門学校や生涯学習施設を誘致することで、「教育の場」としての象徴性を保持。
4. 持続的な収益確保
 - 民間施設からの借地料や駐車場収入を市財源に還元できる。
5. 地域交流拠点化
 - 体育館など既存校舎の一部を改修してイベントや交流に活用し、地域の結束を維持。

5. 導入に向けた留意点

- 民間事業者との連携スキーム設計(事業用定期借地権の活用等)
- 公共と民間の施設配置バランスの検討
- 周辺交通・駐車場計画の事前調査
- 地域住民との合意形成プロセス

6. おわりに

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和7年7月25日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	佐貫尚子
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲		
視察先及び調査事項	福井県池田町		
日 時	令和7年7月17日（木曜日）10時～12時		
視察先対応者	池田町 教育委員会事務局長 山本弘紀		
	池田町役場 総務課 宮本礼		
(調査結果の概要及び所見) 別紙でも可			
<p>福井県池田町の教育には、小さな町だからこそ実現できる、豊かな個別対応と地域連携が光っています。以下に主な特色をまとめました。</p> <p>少人数を活かした丁寧な教育</p> <p>池田町には、認定こども園「なかよしこども園」、池田小学校、池田中学校が各1校ずつあり、少人数制を活かしたきめ細やかな指導が特徴です。小学校低学年では、担任の先生に加え、補助の先生がつくチームティーチング体制も整っています。先生の目が行き届きやすく、生徒一人ひとりに寄り添った教育が可能です。</p> <p>英語教育:早期かつネイティブによる指導</p> <p>年少のこども園から中学校まで、ネイティブ講師による英語レッスンを実施。歌やゲームを通じて自然に英語に親しむ環境を整えています。</p> <p>食育と伝統文化を通じた実践的学び</p> <ul style="list-style-type: none">食育活動:こども園では地域の高齢者と一緒に郷土料理づくり(よもぎもち・ほう菜めしなど)、畑や魚の調理体験などを通して命や食への理解を深めています。小学校では、米づくり(田植えから稲刈り、もち米の活用まで)を行い、地域行事としての「寒の餅づくり」に参加。さらには給食センターとの連携で、池田町産コシヒカリ100%を使った温かい給食を提供し、給食コンテストでも受賞歴があります。			

地域と連携したアクティブラーニング

池田町は「アクティブラーニング」を推進し、対話や協力を通じて主体的に学ぶ授業スタイルを充実させています。地域の方を講師に招く「まち人授業」では、町の歴史や食文化、キャリア教育などを通じた多様な学びが可能です。また、プロジェクト型学習も取り入れられており、例えば中学2年生が早稲田大学の協力を得て「むらの遊び収集調査」を行うなど、発表・まとめ・調査力の向上にもつながっています。

ポジティブ教育・読書推進

こども園から中学校にかけて「ポジティブ教育」を導入し、子ども同士がお互いを認め合い、幸せを自らつくる力の育成を目指しています。

また、町立図書館を活用し、園や学校での読み聞かせ、ブックトーク(司書によるテーマ本紹介)を定期的に行うなど、読書環境の向上にも力を入れています。

安心・安全への配慮と支援体制

- 通学距離が長い子どもにはスクールバスを運行し、負担の軽減と安全確保に努めています。
- 学童保育・放課後教室を拡充し、早い下校時や長期休暇中も子どもたちが安心して過ごせる環境を提供。
- 経済的に学びに課題がある児童・生徒については、学用品や教材などの支援も行っています。

文化・伝統の継承と体験学習

中学校では、能楽の町らしく琴(箏)演奏を体験する機会があり、地元の伝統芸能を身近に学ぶことができます。地域の能面文化や「田楽能舞」なども、教育や地域行事を通して次世代へ継承されています。

まとめ

池田町の教育は、「少人数」「地域連携」「伝統文化」「ICT環境」「食・自然体験」「ポジティブマインドの醸成」など、多面的なアプローチによって子どもたちの「育つ力」を育てているのが大きな魅力です。町の教育大綱(2024～2028年度)でも、「育つ力を育てる」「みんなで育む」「学びを応援する」をキーワードとし、生涯教育を視野に入れた包括的な体制が整えられています。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。